

平和がいちばん

2013年8月15日
第74号
平和で豊かな枚方を
市民みんなで作る会



反原発金曜日アクション (7:26 - 関電枚方営業所前)

枚方市の中学校給食 “教育文化都市” にふさわしいものに

枚方市には中学校給食がないことと、現在実施に向けた準備が進められていることをご存知でしょうか。市教委で検討がされ、議会で議論されています。計画では来年度に調理場の整備工事に着手、2016年から実施というのが現段階です。その給食の概要は「選択制の共同調理場(ランチボックス)方式」。市が建てた調理場に民間業者が入り、希望した生徒にお弁当を配るというもので、約50%の生徒が喫食するとの仮定です。「学校給食」と聞いてイメージするのは保温用食缶に入った主食や副食を生徒達の手で配膳し、同じものを一緒に頂くスタイルです。しかし現在の計画は違います。

給食開始を歓迎する一方、多くの問題点も出されています。希望する生徒だけへの配食で学校給食と言えるのか。昨年導入された大阪市の中学校給食は選択制のため給食を食べる生徒は10%(今年5月)程度に留まっています。またランチボックス方式が授業の一環としての生徒達の協同作業になるのか。

検討委員会では「中学校給食は単に昼食を提

供するというものではなく、…食を通じてその健全な心身を育み、すこやかな成長と学びを支える」と目的をうたっています。食をめぐる問題はたくさんあります。飽食の時代と言われ、高カロリーの食品による偏食や肥満の問題。また親世代の職の不安定さから子どもに十分な食事が提供できていない家庭の存在。また福島原発事故に起因する食材の放射能汚染の心配もあります。ちなみに枚方市は学校給食の放射能食材検査を実施していません。未実施は大阪府下では6市だけです。そして現在焦眉の課題であるTPP(環太平洋経済連携協定)での「自由貿易」で、遺伝子組換え食物等が国内に入ってくる危険性もまた視野に入れておかなければなりません。

現計画は当初に掲げた目的の「食と食育を通じて健やかに育てる」ことに合致するのか、幅広い市民との議論をせず、「公約実現」を急ぎ、財政状況や申請期限などに縛られた計画でいいのか。

“カネより命・健康が大切”の考えが貫かれ、“教育文化都市”を掲げる市に相応しい食文化が中学校給食の中に活かされなければなりません。

あれも これも みんな つながって 私はこう思う

枚方小学校給食 工夫と努力 全ては子どもの笑顔のために 上田 仁美

枚方市の小学校では給食を作る方式として、学校の敷地内に調理場がある単独調理場方式と、いくつかの小学校の給食をまとめて作って運ぶ共同調理場方式があります。そして、単独調理場方式でも栄養士がいる学校といない学校があります。

単独調理場方式では、学校に調理場があるので、3時間目ぐらいから学校中に料理のにおいがたよい、子どもだけでなく先生までも食欲全開モードになり、給食時間が待ち遠しくなります。車で運ぶ必要がないので、給食の仕上げに時間をギリギリまで使うことができ、出来たてホヤホヤの給食を食べることができます。そのため、単独調理場方式の学校はとても食べ残しが少ないのです。

学校内に調理場があることは、子どもにとっても先生にとっても調理員にとってもとても良いことです。調理員さんにとって、自分が作った給食を食べる子どもたちの顔が見えることは、給食作りに大きな影響を与えています。ひとりひとりの顔が見えることで、調理作業に励みがでできます。

学校に栄養士がいると献立の説明や子どもたちへの言葉かけができるので、給食に対する関心を高めることができます。食に関する指導もきめ細かく授業とリンクした形で先生と相談しながら進めることができます。

共同調理場は学校から離れたところにあり、コンテナに食缶や食器をつめて持っていきます。運ぶ時間があるので、早い学校で11時過ぎに仕上げてしまいます(給食時間は12時20分ぐらいからです)。出来上がった時はおいしくても時間がたつとどうしても味に変化がでてしまい、麺類はのびてしまいます。

子どもたちには作っている人が見えないので、給食に対する関心は低く、コンテナを引き取るまでに食器などを返却しなければならないので、好き嫌いがある子どもの指導も時間切れになってしまうこともあります。作り手が見えないと子どもも先生も、給食を残すことに抵抗感がなく、食べ残しても誰にも言われることもなく過ぎ去ってしまいます。

給食の良いところは栄養のバランスがとれている、温かいものがある、汁物がある、いろんな食材

を使っている(木の芽・破竹・やまぶき・卯の花・ゴーヤなど)、安全な食材を使っている、旬の物を使っている、献立がバラエティー、献立に思いがある(行事食、郷土食、豆料理、かむこと、旬、地元野菜など)ことです。

好き嫌いの多い子どもでも、家では食べないが給食では食べることができるという話をよく聞きます。給食はみんなと同じものを一緒に食べるので頑張れるようで、そこから好き嫌いがなくなった子もいます。

給食は作り手が見え、学校に栄養士がいることが、とても大切だと思います。

献立を立てる前にまず、献立のテーマを考えます。例えば夏なら「夏バテに負けない体を作ろう」とかです。そのテーマに沿って、いろんなメニューを入れます。その他にも旬の素材や地元野菜、行事食、郷土料理なども入ります。栄養価や食品構成、価格、調理作業も考慮します。代わり映えしないような献立と思われそうですが、毎月、栄養士たちは、とても丁寧に時間をかけて作っています。栄養士の仕事にとって、献立は“命”です。いくら立派な栄養指導していても、毎日の給食がおいしくなくては、なんの説得力もありません。いろんな食材、いろんな献立を子どもたちに覚えてほしいという思いをもって作っています。

安全な給食作りにはとても気をつけています。毎月2回の検便、手洗い、消毒、仕上げ温度の確認など、ここには書ききれないほどの約束事や書類などがたくさんあります。調理員さんたちは、この暑い夏で、38度にもなる調理場で顔を真っ赤にしながら作業をしています。それも、子どもたちの「おいしかったよ」

という声を聞きたいために、1日に何回も白衣を着替えながら安全な給食を作るためにがんばっています。



東北大震災の被災地を訪れて

鎌田 恵津子

車が山道を越え、遠くの海と、それに続く草に覆われた広野が目にとびこんできました。津波の悲惨さというよりも、南三陸の豊かな緑と自然が最初の印象でした。後になって、私は自分の大きな勘違いと想像力のなさに気付く、情けなくなりました。広野の中にぽつんと建った「南三陸太陽村」のプレハブ。周りを案内されて「ここは、家と家が30センチも空かないくらいびっしりと立て込んだ、駅前町だったんですよ」、「あの鉄橋の上に船がのっていたんですよ」との説明。2年以上たち、がれきは随分撤去され、広野は緑におおわれていました。でも、良く見るとその下に家の基礎のコンクリートが見えていました。そこにたくさんの人の生活があったのに、元の街並みを知らずに表面だけ見ていたのです。

私は、AKAY (アカイ) というボランティア団体で、フィリピン、マニラの貧困地域のラーニングセンターを支援する活動をしています。東北には、91,147人の外国人が暮らし、76,281人が災害救助法の適用を受けています。フィリピンからは農家などに嫁いできた人も多く、9,617人が暮らしています。「被災地を訪れて、フィリピンから遠く離れた地で苦しんでいる人たちの力になりたい」。ラーニングセンターの責任者で、歌手のポール・ガランさんの思いを受け、京都在住の歌手阿部ひろ江さんとともに、私たちは7月23日から25日、福島、南三陸、仙台の仮設住宅などでコンサートを行いました。私自身、震災直後は何もできなかったもので、是非、この目で見て、何かできることを手伝いたいと同行しました。そして、地震・津波の被害、原発の問題、被災地での在日外国人の暮らしの問題を知りたいと思いました。

南三陸で宿泊した「ホテル観洋」は、被災者とボランティアの中心基地でした。今も毎朝、希望する宿泊客に語り部バスを運行し、実体験を伝えています。TVでも、何度も放映されていた「危機管理課」から、避難を呼びかけながら亡くなった女性のこと。その後、苦しみ続けたその上司(彼も亡くなった)の妻。その苦しみを知り、事実を検証すると、その上司は女性を逃がし、最後の放送は彼がしていたことがわかりました。また、児童が全員助かった海岸近くの小学校(奇跡だと言われている)では、少し前の職員会議で、教師の発言を受け入れ、校長先生が避難場所を、これまでの校舎屋上から近くの高台へ

と変え、震災2日前に避難訓練をしていたのでした(形だけの職員会議だったら、児童の命も守れなかったかもしれません)。

私は途中からの参加だったので、福島には行けませんでした。でも帰りの新幹線で線量計の値が、福島、さらに郡山ではグンと上がりました。福島在日フィリピンネットワークのキャサリンさんは、娘さんの尿からセシウムが検出されたが「(放射能被曝の影響があるか無いかは)30年経たないとわからない」と言われ、ショックを受け、ひとり大阪に避難させました。彼女は、福島の避難所で炊き出しをしますが、慣れていないところで生活するつらさは、フィリピンを離れ、遠く日本で暮らす自分と同じだと言います。そして、自分は年をとっているからもういいんだと言って除染の仕事をしている外国人のことを心配しています。

また、郡山の主婦は、震災以来、一度も洗濯物を外でほしていない。それなのに息子の下着から60ベクレルの放射能が検出された。一緒に洗う外着が汚染されているからですが、どうしたらいいか悩みます。始めのうちは3時間ルールで外出を制限していたのに、いつの間になくなり、子どもも部活動などがあるとむずかしい、と話しました。家族が離れ離れになったり、放射能に対する考え方の違いで、人間関係にも亀裂が入っています。今、子どもの甲状腺がんは27人見つかっていますが、発症率から考えるとかなり高く、チェルノブイリでは4年後から爆発的に増えました。

さて、コンサートでは、フィリピンの人たちが集まり、日本人もいっしょになって盛り上がりました。子ども達の楽しそうな顔が印象的でした。一方、被災という厳しい現実の中で、外国人が日本の社会で生きていくことのむずかしさも感じました。ツアーの反省会では、日本で生きる外国人のアイデンティティについても考えました。

子どもたちが、タガログ語で話す母たちの明るい顔を見ること、自分たちのためにフィリピンからはるばるポールさんが来てくれて楽しい時間をもてたこと。自分が周りの人たちから大切にされていると思えること。このような体験が、子ども達の感覚の根っこの部分に大切だと思っています。

まだまだ、もりだくさんの内容を語り切れません。AKAYでは、今後も上映会などで、被災地で生活する在日外国人の姿も伝えていきたいと思っています。



7月13日 里見賢治仏教大学教授をお招きして「『税と社会保障の一体改革』で介護保険はどう変わるか」の学習会 社会保障制度を維持するために、給付の抑制と消費税増税が必要と政府は言う。しかし、GNPに占める社会保障費の比率、日本はOECD加盟国中下から2番目。情けない。消費税を上げても社会保障費に回る保障はない。所得税の最高税率は75%だったものが現在は40%。高額所得者の税率を上げることが必要だ。社会保障国民会議は、自助・共助が基本と家族や地域での助け合いを強調し、国や自治体の公的保障を後退させる。その典型が生活保護における家族の扶養義務の強化だ。頼るべき家族ない人は切り捨てられる。介護保険も、要支援などの軽度者の見守り・配食など生活支援を保険適用外とした。「金がないからこれまで通りの給付はできません」では国家的詐欺だ。

7月21日 参議院選挙投開票 自民党の有権者全体に占める得票は17.7%（比例区）にすぎないのに議席数では多数を占める結果に。維新、みんなの党などを入れても改憲派は、三分の二に届かない。東京の山本太郎氏、沖縄の糸数氏、東京、大阪、京都での共産党候補の当選は、原発反対、憲法改悪反対の運動が作りだした成果だ。安倍内閣は、内閣法制局長官を変えてまで集団的自衛権を行使したいと躍起になっている。時の政府が勝手に憲法解釈を変えてよいわけがない。「国民の気づかない間に憲法を変える」。すでに「ナチスの手口を学んで」いるのか。大きな声を上げて騒ごう。粛々と改憲をさせてはならない。

7月26日 中央ワンディアクションに参加し復興庁と環境省に『だれでも放射能健診署名』を提出 今回は10,216筆提出。前回と合わせる21,000筆になる。枚方からは今回は約650筆、累計は約1500筆。どちらも担当者不在で代理の方。復興庁の役人は、被災者の切実な訴えすらメモを取らない。担当者に伝えることができるのか。被災者への侮辱をツイッターで流した参事官も復興庁。被災者に寄り添う気持ちのない復興庁の体質を変えなければ被災者支援は進まない。

7月27・28日 2013東京ZENKOに参加 「カネより命！99%が手をむすび世界を変える」がメインテーマ。全国各地で反原発運動をされている方々、福島現地で国や東電と闘っている方々、イラク・米国・韓国・フィリピンから、多くのゲストが発言した。いずれも、人間の尊厳をかけて「おかしいことはおかしい」と声を上げ続けている方々。「あってはならない放射能が存在すること自体が問題なのだ」との井戸川前双葉町長の端的に国や東電の責任を追及する言葉に力を感じた。9月15日に大飯原発も止まる。1基の原発も再稼働させない運動を強めたい。

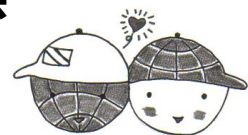
7月24日 7月分議員報酬から223,880円を大阪法務局に供託。私は政務活動費は受けとっていません。

今月の一言

あってはならない放射能が存在すること自体が問題なのだ

平和で豊かな枚方を市民みんなで作る会

- 共同代表 松本 健男（弁護士）
 家高 憲三（元教育長）
 黒田 薫（平和都市ひらかたを考える市民の会）
 鈴木めぐみ（親と子のリズム遊び講師）
 おおた幸世（枚方市平和無防備条例を実現する会）
 事務局長 手塚 隆寛（枚方市会議員）



「会」のシンボルマーク
塔本賢一さん作

〒573-1197 枚方市禁野本町1-5-15-106 市民の広場“ひこばえ”

Tel&Fax 072-849-1545

毎月の配布を希望される方、または配布を希望されない方はお手数ですがご連絡ください。